

対象国の条件 : 中央アジア・コーカサス地域

研修コース番号 : 201984729-J002

案件番号 : 201984729

主分野課題 : 農業開発/灌漑・排水

副分野課題 :

使用言語 : 露語

案件概要

中央・地方政府組織、公営公社において灌漑農業地域の灌漑用水管理や灌漑施設の運営・維持管理に携わる者を対象に、水管理や灌漑施設の適切な運営・維持管理に関する法制度や受益者参画による運営・維持管理手法を学ぶ。灌漑施設の老朽化がすすむ対象地域の現状をふまえて、ストックマネジメントによる灌漑施設の維持管理手法についても理解を深める。

目標/成果		対象組織/人材	
<p>【案件目標】 研修員が持続的な灌漑施設の運営・維持管理手法を習得する。</p> <p>【成果】 1. 研修員は、自国の灌漑施設の運営・維持管理に関する現状と課題を分析する（インセプションレポート）。 2. 研修員は、日本の水管理や灌漑施設の運営・維持管理に関する法制度を理解する。 3. 研修員は、ストックマネジメントによる灌漑施設の維持管理手法を理解する。 4. 研修員は、日本の受益者参画による持続的な灌漑施設の運営・維持管理の手法を理解する。 5. 研修員は、自国の灌漑施設の運営・維持管理の課題に対する解決策を提案し、実施に向けた工程案（アクションプラン）を作成する。</p>		<p>【対象組織】 農業用水管理や灌漑施設の運営・維持管理を担当する中央・地方政府組織、公営公社</p> <p>【対象人材】 1. 中央政府・地方政府、または公営公社において国全体、地方、灌漑農業地域の灌漑用水管理や灌漑施設の運営・維持管理に携わる者で、関連分野で5年以上の経験がある。 2. 十分な露語能力（読み・書き、聞く・話す）を有する者。 3. 年齢は30歳～45歳であることが望ましい。</p>	
<p>内 容</p> <p>1. 自国の灌漑施設の運営・維持管理に関する現状と課題 (1) インセプションレポート作成（事前プログラム） (2) 中央アジアの灌漑 a. 気候変動と水管理 b. 効率的な水利用 c. 塩害対策 2. 日本の水管理や灌漑施設の運営・維持管理に関する法制度 (1) 農業農村整備事業 (2) 土地改良法、土地改良事業 (3) その他関連政策、制度、関連機関の役割 3. スtockマネジメントによる灌漑施設の維持管理手法 (1) 機能性診断 (2) リスク評価 (3) 対策工法 (4) コスト比較 (5) モニタリング 4. 日本の受益者参画による持続的な灌漑施設の運営・維持管理の手法 (1) 参加型水管理（Participatory Irrigation Management） (2) 土地改良区 5. 解決策の提案、実施に向けた工程案（アクションプラン）作成</p>		<p>本邦研修期間</p> <p>2019/5/26-2019/7/6</p>	
		<p>担当課題部</p> <p>農村開発部</p>	
		<p>所管国内機関</p> <p>JICA筑波（研修業務）</p>	
		<p>関係省庁</p>	
		<p>実施年度</p> <p>2019～2021</p>	
<p>主要協力機関</p>	調整中		
<p>特記事項及びホームページ</p>			